

# キャブロック Le

エルイー

# 施工説明書

必ずお読みください

## 施工される方へ

### 施工前に製品をよくお確かめください。

品質管理には万全を期していますが、万一品質に不都合な点がございましたら、販売店様または弊社営業まですぐにご連絡ください。施工前の製品に限り、販売店様を通じて代替品と交換させていただきます。施工後の交換、補修は致しかねますので必ず施工前にご確認をお願いします。

## ⚠️ ご注意

ご使用になる前に必ずこの「施工説明書」をご一読いただきますよう、お願い致します。間違った施工を行ないますと製品の品質劣化や損傷につながる可能性があります。本書に従わず施工を行なった場合については、当社での保証は致しかねますのでご注意ください。

## 施工上のご注意



屋外使用禁止

本製品は「内装専用」です。屋外には使用できません。



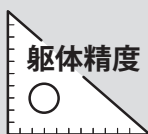
傷注意

施工時に部材の化粧面を傷付けないようご注意ください。



火気厳禁

本製品は木質製品です。火気には充分お気を付けてください。



躯体精度

躯体の垂直度、床の水平度を正確に出して施工してください。



粘着テープ使用禁止

化粧面に粘着テープ(セロハンテープ・シール等)を貼らないようにしてください。



水・湿気禁止

屋内であっても直接水のかかる場所や湿度の高い場所には使用しないでください。



溶剤厳禁

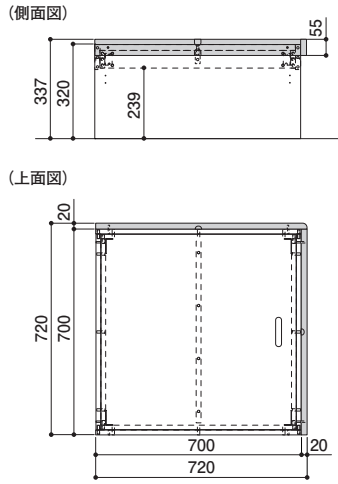
水・油・インク・薬品等が付着しないようご注意ください。付着した場合はすぐに拭き取ってください。放置するとシミや変色の原因となります。



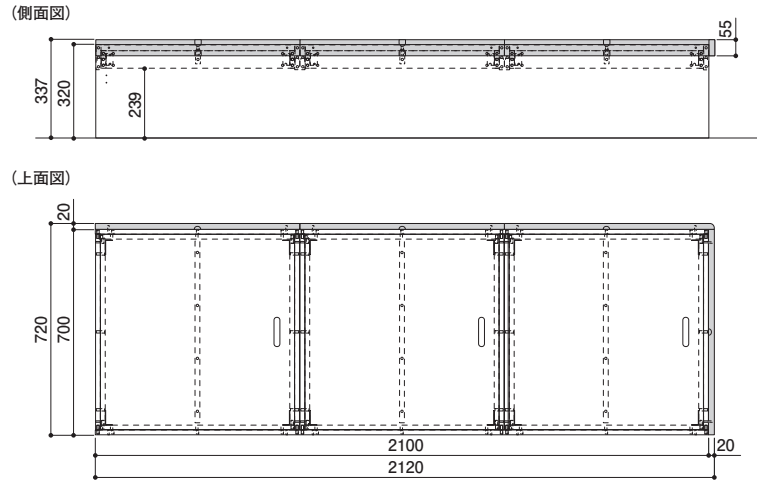
床強度確保

床の強度を十分に確保してください。(303mmピッチの根太に12mm合板、もしくは15mmパーティクルボードの捨て貼りをし、その上に仕上げ材を施工していること)

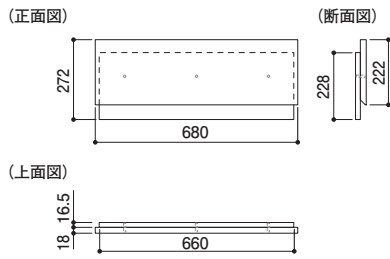
ベースワンボックス



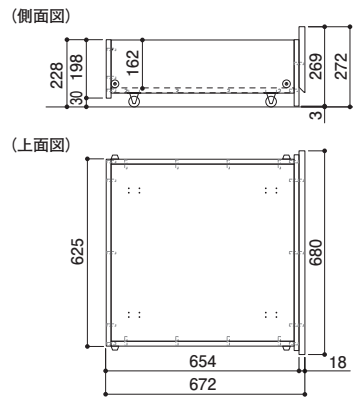
ベースコネクトボックス



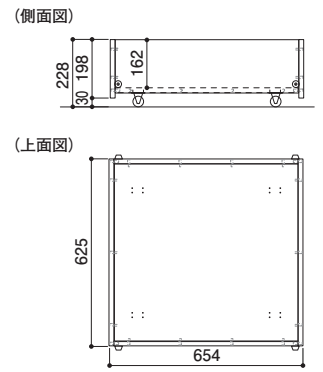
前板



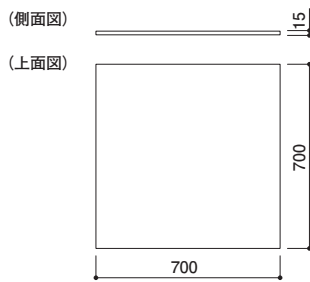
引出し



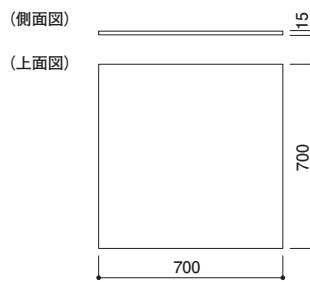
可動内部収納



薄畳・い草畳

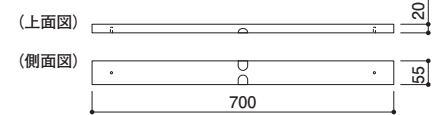


化粧天板

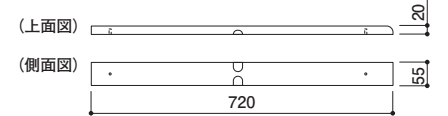


付框

標準タイプ



コーナータイプ



片入隅タイプ



化粧パネル

標準タイプ



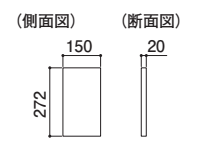
右入隅タイプ



左入隅タイプ



フィル材



# 部材セット明細一覧

製品には万全を期しておりますが、開梱時には下記の部材・部品一覧を参考に部材・部品の内容をお確かめください。(単位:mm)

		ベースワンボックス						
部材	名称	側板セット	幕板セット	天板	天板補強棧			
	寸法	W700×H320	t33×W667×H85	t20×W662×D662	t16.5×W618×H45			
	入数	2	2	1	1			
部品	名称	L字ブラケット	L字キャップ	ビス L=30	連結ボルト	連結ナット	フェルト材	接着剤
	入数	4	4	24	4	4	4	1

		ベースコネクトボックス						
部材	名称	コネクト用側板セット	幕板セット	天板	天板補強棧			
	寸法	W2100×H320	t33×W667×H85	t20×W662×D662	t16.5×W618×H45			
	入数	2	6	3	3			
部品	名称	L字ブラケット	L字キャップ	ビス L=30	連結ボルト	連結ナット	フェルト材	接着剤
	入数	12	12	72	12	12	8	3

		前板		
部材	名称	前板 1	前板 2	
	寸法	t18×W680×H222	t16.5×W663×H228	
	入数	1	1	
部品	名称	キャッチャー オス メス	キャッチャー 用ビス L=13	連結ボルト
	入数	各 2	8	3

		引出し ※木ダボは底板に取り付け済み							
部材	名称	前板 1	引出し用前板 2	引出し用側板	引出し用後板	底板			
	寸法	t18×W680×H222	t16.5×W663×H225	t16.5×W620×H180	t16.5×W629×H198	t16.5×W596×D620			
	入数	1	1	2	1	1			
部品	名称	キャスター	システムビス L=13.5	キャッチャー オス メス	キャッチャー 用ビス L=13	戸当り	戸当り用ビス L=16	連結ボルト	接着剤
	入数	4	16	各 2	8	4	4	3	1

		可動内部収納 ※木ダボは底板に取り付け済み				
部材	名称	引出し用側板	引出し用後板	底板		
	寸法	t16.5×W620×H180	t16.5×W629×H198	t16.5×W596×D620		
	入数	2	2	1		
部品	名称	キャスター	システムビス L=13.5	戸当り	戸当り用ビス L=16	接着剤
	入数	4	16	4	4	1

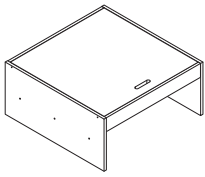
		化粧パネル	ファイラー材	付框	薄畳・い草畳	化粧天板			
部材	名称	化粧パネル(標準)	化粧パネル(右入隅) (左入隅)	ファイラー材	付框(標準タイプ)	付框(コーナータイプ)	付框(片入隅タイプ)	薄畳・い草畳	化粧天板
	寸法	t18×W680×H222	t18×W660×H222	t20×W150×H272	t20×W700×H55	t20×W720×H55	t20×W680×H55	t15×W700×D700	t15×W700×D700
	入数	1	1	1	1	1	1	1	1
部品	名称	連結ボルト	連結ボルト		連結ボルト	連結ボルト	連結ボルト		
	入数	3	3		2	2	2		

# 全体の流れ

## 1. 各ボックス・アイテムの施工

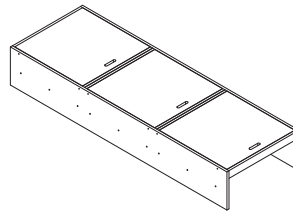
### ■ ベースワンボックス・ベースコネクトボックスを施工

ベースワンボックス P04



▶ ベースワンボックス 施工手順 参照

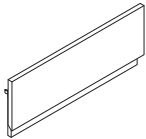
ベースコネクトボックス P05



▶ ベースコネクトボックス 施工手順 参照

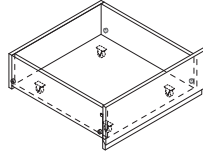
### ■ アイテム(前板・引出し・可動内部収納)を施工 P06

前板



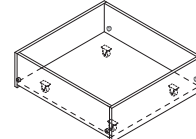
▶ 前板 施工手順 参照

引出し



▶ 引出し 施工手順 参照

可動内部収納



▶ 可動内部収納 施工手順 参照

### ボックス設置位置の決定



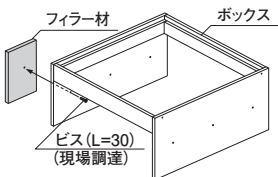
ボックスを置く位置や向きを決めます。

#### ⚠️ ご注意

- ・扉、引出しの向きにご注意ください。
- ・長尺物(カーペットなど)を収納する予定がある場合は、ベースワンボックスを連結するか、ベースコネクトボックスを設計してください。

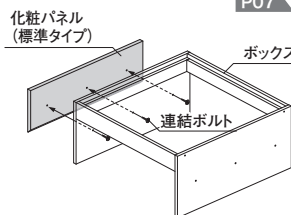
## 2. ボックスの連結、固定

### ■ フィラー材の取り付け P07



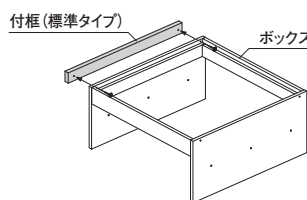
▶ 1 フィラー材の取り付け 参照

### ■ 化粧パネルの取り付け P07



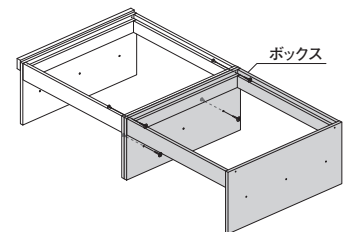
▶ 2 化粧パネルの取り付け 参照

### ■ 付框の取り付け P08



▶ 3 付框の取り付け 参照

### ■ ボックスの連結 P09

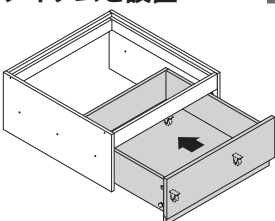


▶ 4 ボックスの連結 参照

必要に応じて取り付け

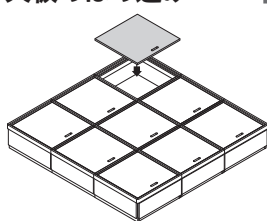
## 3. アイテムの設置、天板のはめ込み、薄畳・化粧天板の敷き詰め P10

### ■ アイテムを設置



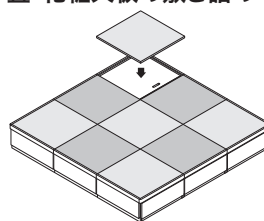
▶ 1 アイテムを設置 参照

### ■ 天板のはめ込み



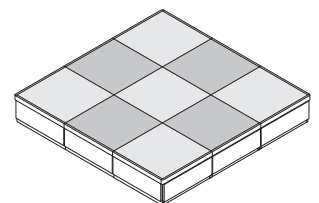
▶ 2 天板のはめ込み 参照

### ■ 畳・化粧天板の敷き詰め



▶ 3 畳・化粧天板の敷き詰め 参照

### ■ キャブロック完成!



# 1. 各ボックス・アイテムの施工

## ⚠️ ご注意

- ・製品にキズがつくおそれがあるため、床面に凹凸やゴミのないことを確認して組み立てを行なってください。
- ・ダボ組みする際は、必ず接着剤を木ダボではなくダボ穴に塗布し、施工を行なってください。また、接着剤はダボ穴にたっぷり塗布してください。接着剤を塗布しなかったり、量が少ない場合はきしみ音の原因になります。

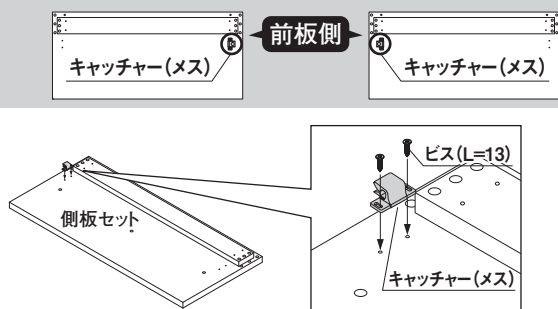
## ベースワンボックス 施工手順

### 1 側板セットへ部品の取り付け(前板・引出しを設置する場合)

前板を取り付ける側にキャッチャー（メス）を左右側板セットのガイド穴へ向かって取り付け、キャッチャー用ビス(L=13)で固定します。

※キャッチャーは前板または引出しに同梱されています。

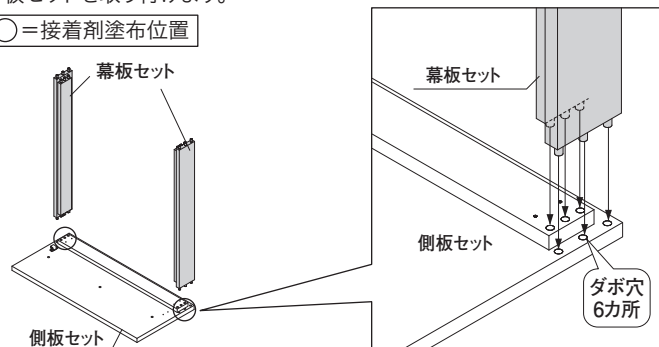
⚠️ 右側・左側のキャッチャー（メス）取り付け位置を間違わないよう、下図を参考にしてください。



### 2 幕板セットの取り付け

側板セットのダボ穴(左右各6カ所)へ接着剤を塗布し、幕板セットを取り付けます。

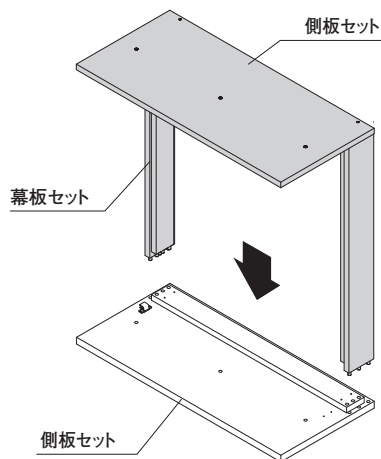
○ = 接着剤塗布位置



⚠️ 接着剤をダボ穴にたっぷり塗布してください。

### 3 側板セットの取り付け

2と同じ要領で反対側の側板セットを取り付けます。

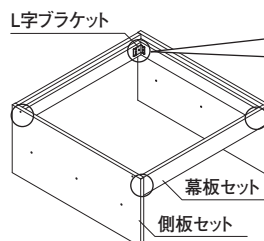


⚠️ 接着剤をダボ穴にたっぷり塗布してください。

### 4 金具の取り付け

補強のため、L字ブラケットを4隅(下穴あり)にビス(L=30)で固定し、L字キャップを取り付けます。※ビスの打ち込みすぎにご注意ください。

○ = L字ブラケット取り付け位置



⚠️ L字ブラケットの中央の穴は使用せず所定の位置で固定してください。



L字ブラケット切り欠き部分4カ所・穴部分2カ所を固定

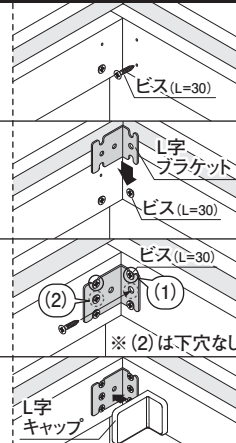
① 下部2カ所をビス(L=30)打ち

L字ブラケット厚み分を空けておくこと

② L字ブラケット切り欠き部分をビス(L=30)に引っ掛ける

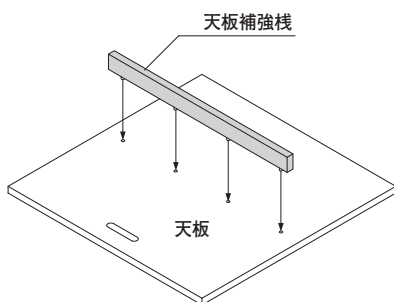
③ 上部2カ所をビス打ちし調整した後、中央の穴2カ所をビスで固定する

④ その上にL字キャップを取り付ける



### 5 天板へ天板補強棧の取り付け

天板のダボ穴に接着剤を塗布し、天板補強棧の木ダボを差し込み、固定します。

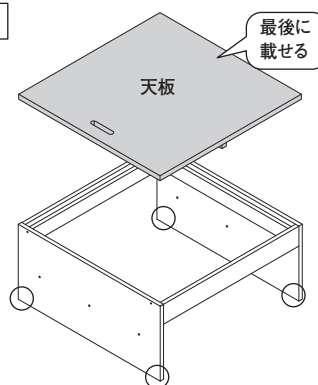


⚠️ 接着剤をダボ穴にたっぷり塗布してください。

### 6 フェルト材の貼り付け・天板の取り付け

側板セット下面4隅にフェルト材を貼り付け、完成です。※天板はすべてのボックスを施工後、連結した後に取り付けます。

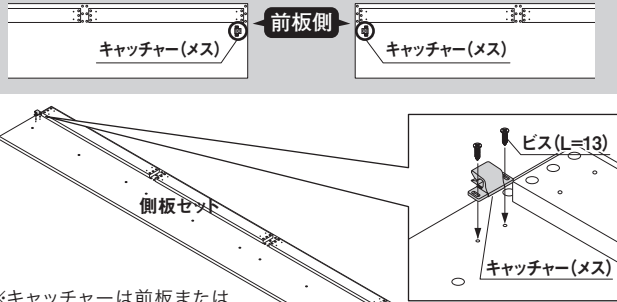
○ = フェルト材貼り付け位置



1 側板セットへ部品の取り付け(前板・引出しを設置する場合)

前板を取り付ける側にキャッチャー(メス)を左右側板セットのガイド穴へ向かって取り付け、キャッチャー用ビス(L=13)で固定します。

⚠ 右側・左側のキャッチャー(メス)取り付け位置を間違わないよう、下図を参考にして取り付けてください。

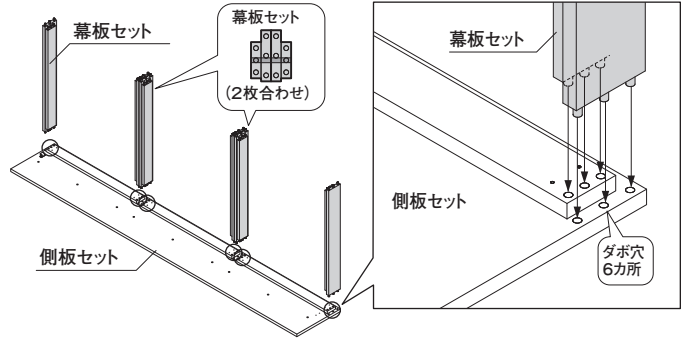


※キャッチャーは前板または引出しに同梱されています。

4 幕板セットの取り付け

側板セットのダボ穴(全36カ所)へ接着剤を塗布し、幕板セットを取り付けます。

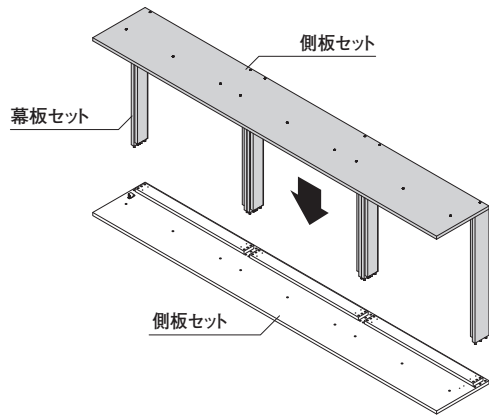
○=接着剤塗布位置



⚠ 接着剤をダボ穴にたっぷり塗布してください。

3 側板セットの取り付け

2と同じ要領で反対側の側板セットを取り付けます。

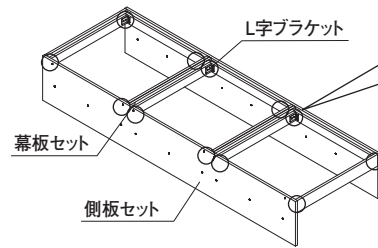


⚠ 接着剤をダボ穴にたっぷり塗布してください。

4 金具の取り付け

補強のため、L字ブラケットを4隅全12カ所(下穴あり)にビス(L=30)で固定し、L字キャップを取り付けます。 ※ビスの打ち込みすぎにご注意ください。

○=L字ブラケット取り付け位置



⚠ L字ブラケットの中央の穴は使用せず所定の位置で固定してください。

使用不可

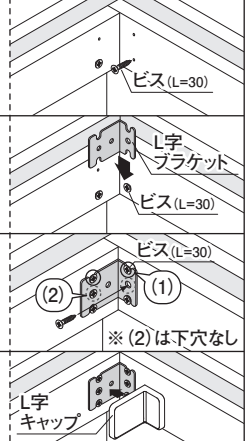
L字ブラケット切り欠き部分4カ所・穴部分2カ所を固定

① 下部2カ所をビス(L=30)打ち  
L字ブラケット厚み分を空けておくこと

② L字ブラケット切り欠き部分をビス(L=30)に引っ掛ける

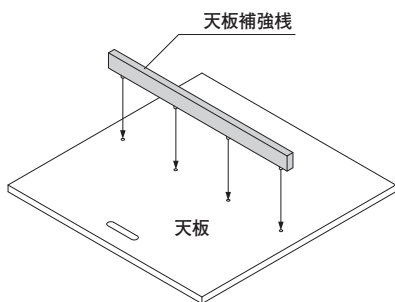
③ 上部2カ所をビス打ちし調整した後、中央の穴2カ所をビスで固定する

④ その上にL字キャップを取り付ける



5 天板へ天板補強棧の取り付け

天板のダボ穴に接着剤を塗布し、天板補強棧の木ダボを差し込み、固定します。

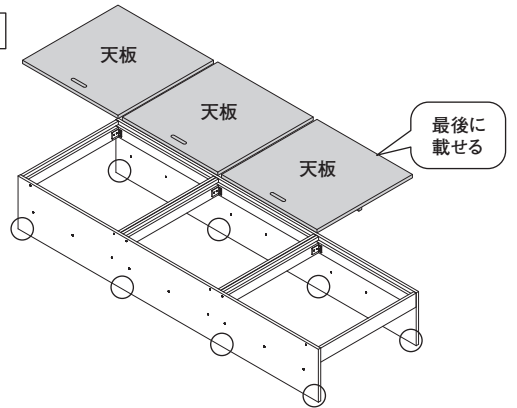


⚠ 接着剤をダボ穴にたっぷり塗布してください。

6 フェルト材の貼り付け・天板の取り付け

側板セット下面8カ所にフェルト材を貼り付け、完成です。 ※天板はすべてのボックスを施工後、連結した後に取り付けます。

○=フェルト材貼り付け位置



## 前板 施工手順

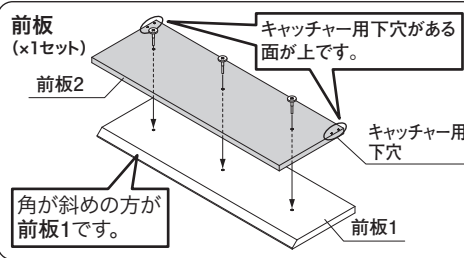
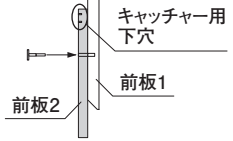
### 1 「前板」の組み立て

前板1、2を連結ボルトで固定します。前板2の下穴から連結ボルトを差し込み、前板1と2を固定してください。

#### 連結ボルト取り付け位置

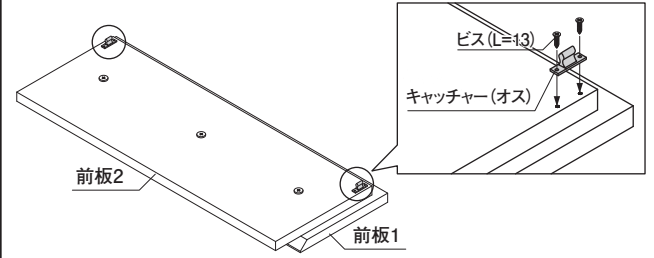
前板2:3カ所

【断面図】



### 2 部品の取り付け

前板2の両側にキャッチャー(オス)を取り付け、ビス(L=13)で固定します。



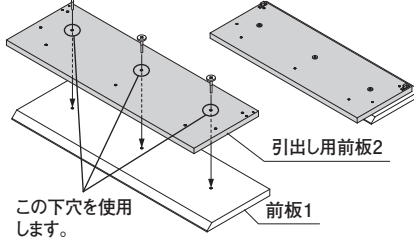
## 引出し 施工手順

### 1 「前板」の組み立て・部品の取り付け

前板 施工手順 をご確認ください。

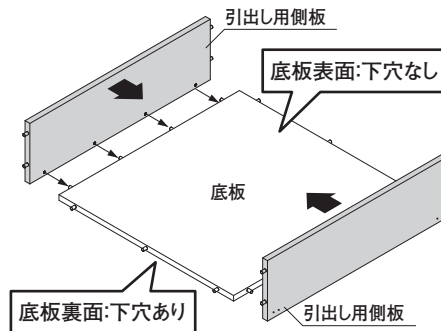
⚠ 前板を組み立てる際は、下図を参考に引出し用前板2のダボ穴の位置・方向に注意してください。

【完成図】



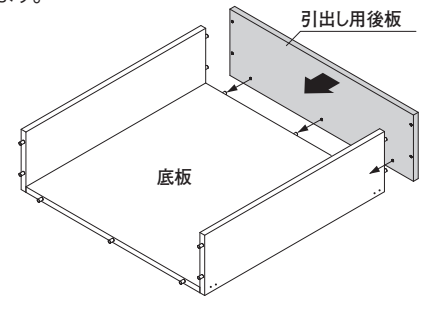
### 2 底板へ引出し用側板の取り付け

引出し用側板のダボ穴に接着剤を塗布し、底板の木ダボに向かって取り付けます。



### 3 2へ引出し用後板の取り付け

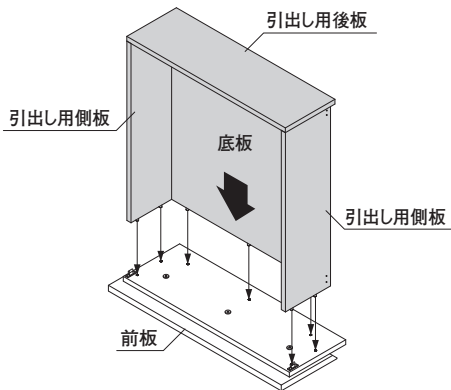
その後、引出し用後板のダボ穴に接着剤を塗布し、側板セット、底板の木ダボに向かって取り付けます。



⚠ 接着剤をダボ穴にたっぷり塗布してください。

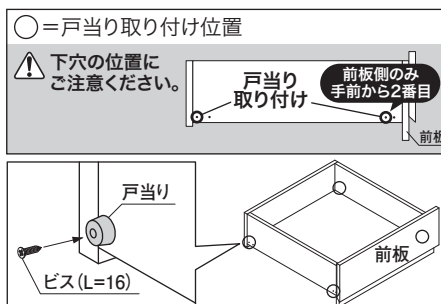
### 4 前板へ3の取り付け

前板内面のダボ穴に接着剤を塗布し、側板セット、底板を取り付けます。



### 5 戸当りの取り付け

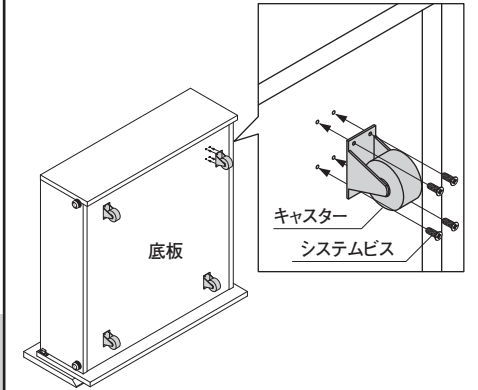
引出し用側板(左右)側面部に2カ所ずつ(下穴あり)戸当りを取り付けます。



⚠ ビスを締めすぎると戸当りが潰れるおそれがあります。電動ドライバーは絶対に使用しないでください。

### 6 キャスターの取り付け

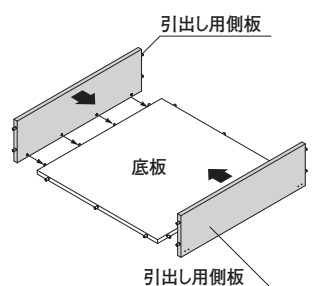
底板裏面4隅(下穴あり)にキャスターをシステムビスで固定します。



## 可動内部収納 施工手順

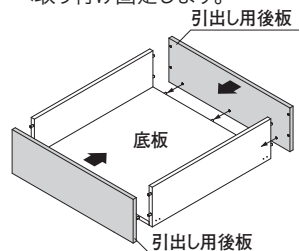
### 1 底板へ引出し用側板の取り付け

引出し用側板のダボ穴に接着剤を塗布し、底板へ取り付けます。



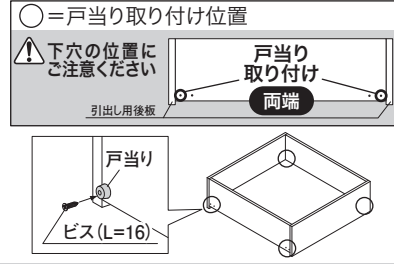
### 2 1へ引出し用後板の取り付け

引出し用後板のダボ穴に接着剤を塗布し、側板セット、底板へ取り付け固定します。



### 3 戸当りの取り付け

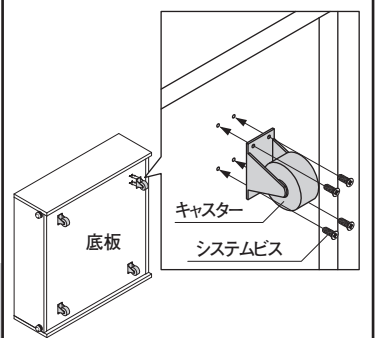
引出し用側板(左右)側面部に2カ所ずつ(下穴あり)戸当りを取り付けます。



⚠ ビスを締めすぎると戸当りが潰れるおそれがあります。電動ドライバーは絶対に使用しないでください。

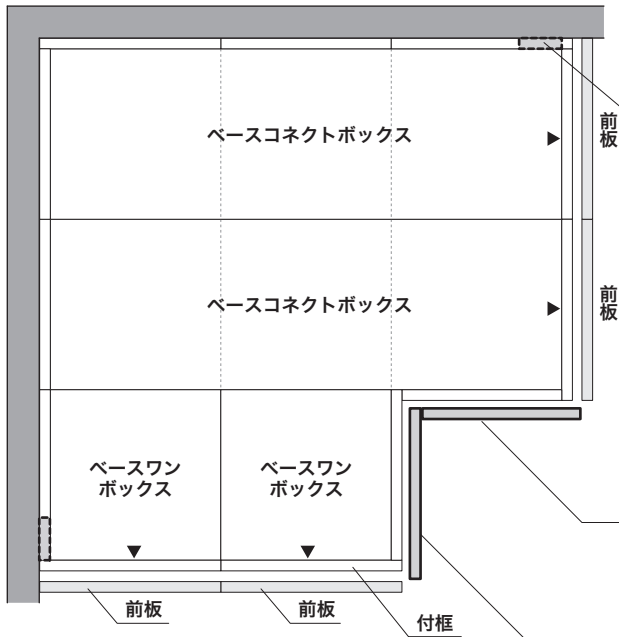
### 4 キャスターの取り付け

底板裏面4隅(下穴あり)にキャスターをシステムビスで固定します。



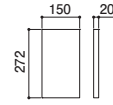
⚠ 接着剤をダボ穴にたっぷり塗布してください。

## 2. ボックスの連結、固定



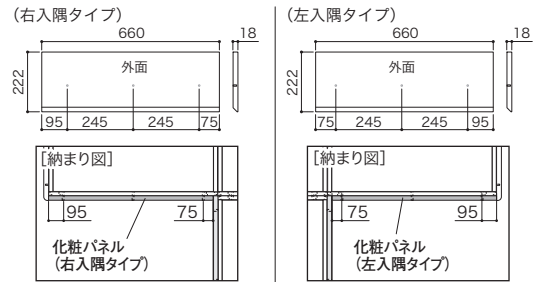
左図のようにボックスの側板セットや隙間が見える面に化粧パネルを取り付け、隙間隠しにフィラー材を使います。

ボックスと壁の隙間部分を隠したい場合にフィラー材を使用します。(手順 1)

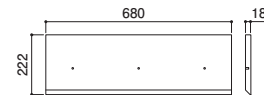


L型やU型などに連結する場合の入隅部分には化粧パネル(右入隅タイプ)、または化粧パネル(左入隅タイプ)を使用します。(手順 2)

※左図は左入隅タイプを使用しています。

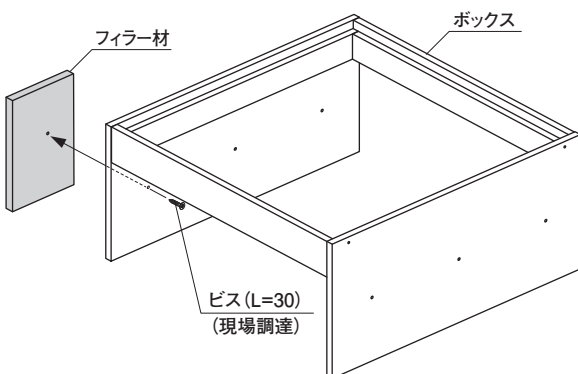


ボックスの側板セット全面が見える箇所には化粧パネル(標準タイプ)を使用します。(手順 2)

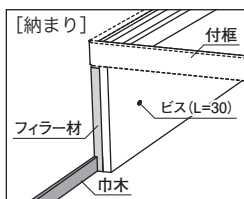


### 1 フィラー材の取り付け

ボックスとフィラー材の底面の位置の位置を合わせ、ボックス内側の下穴からビス(L=30・現場調達)を差し込み、フィラー材を固定してください。  
※フィラー材に下穴はありません。

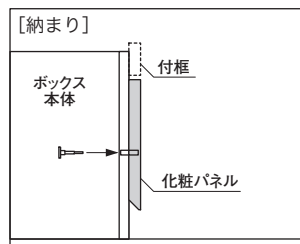
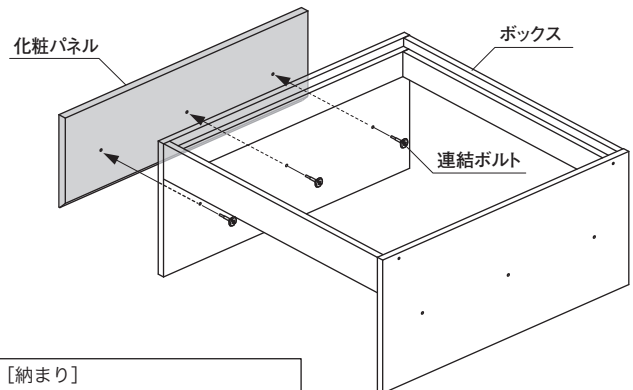


**!** フィラー材を設置する場合、巾木はフィラー材までで納めるか、巾木の高さに合わせてフィラー材をカットして取り付けてください。



### 2 化粧パネルの取り付け

ボックス内側の下穴から連結ボルトを差し込み、化粧パネル(標準タイプ・右入隅タイプ・左入隅タイプ)の下穴に向かって固定してください。



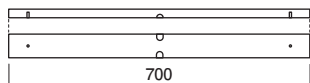
**!** 化粧パネル(右入隅タイプ・左入隅タイプ)を取り付けの際は、左右をよくご確認ください。

### 3 付框の取り付け

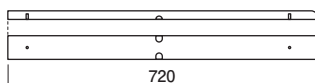
- ①付框は三種類あります。下図を参考に、取り付ける框の種類と位置を確認します。
- ②連結穴に専用ボルトをはめて付框の鬼目ナット部分に差し込み、ドライバーで締めて固定します。  
この作業を繰り返し、必要な箇所すべてに付框を取り付けます。

付框には下図の3種類があります。取り付ける框の種類と位置を確認してください。

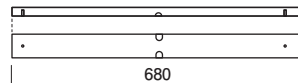
標準タイプ



コーナータイプ



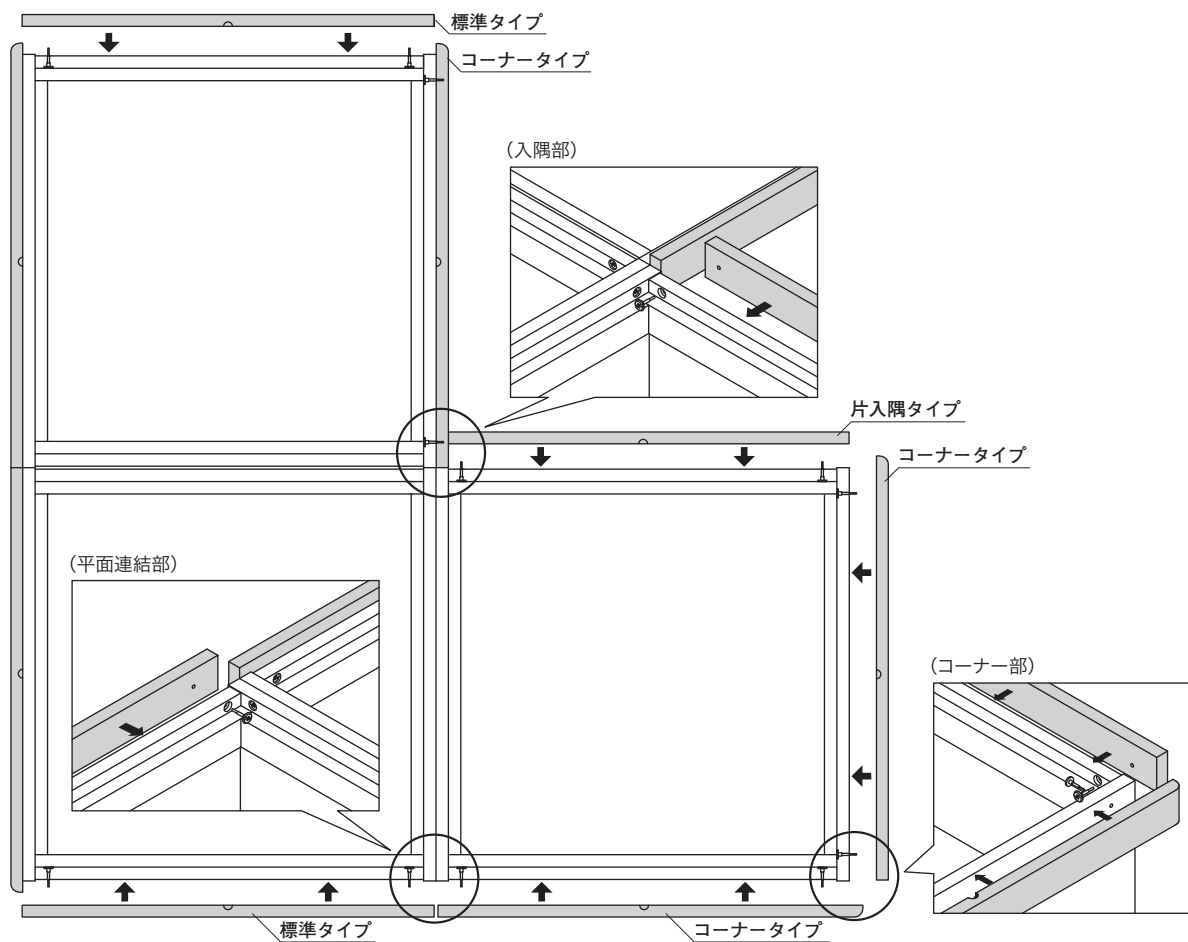
片入隅タイプ



※付框は上下を逆にしても施工できます。

※中心に空いている半円の切り欠きは量を上げるときに指を入れる部分です。

※設置予定位置にコンセントがある場合は、付框20mm分の隙間を利用して配線することが可能です。



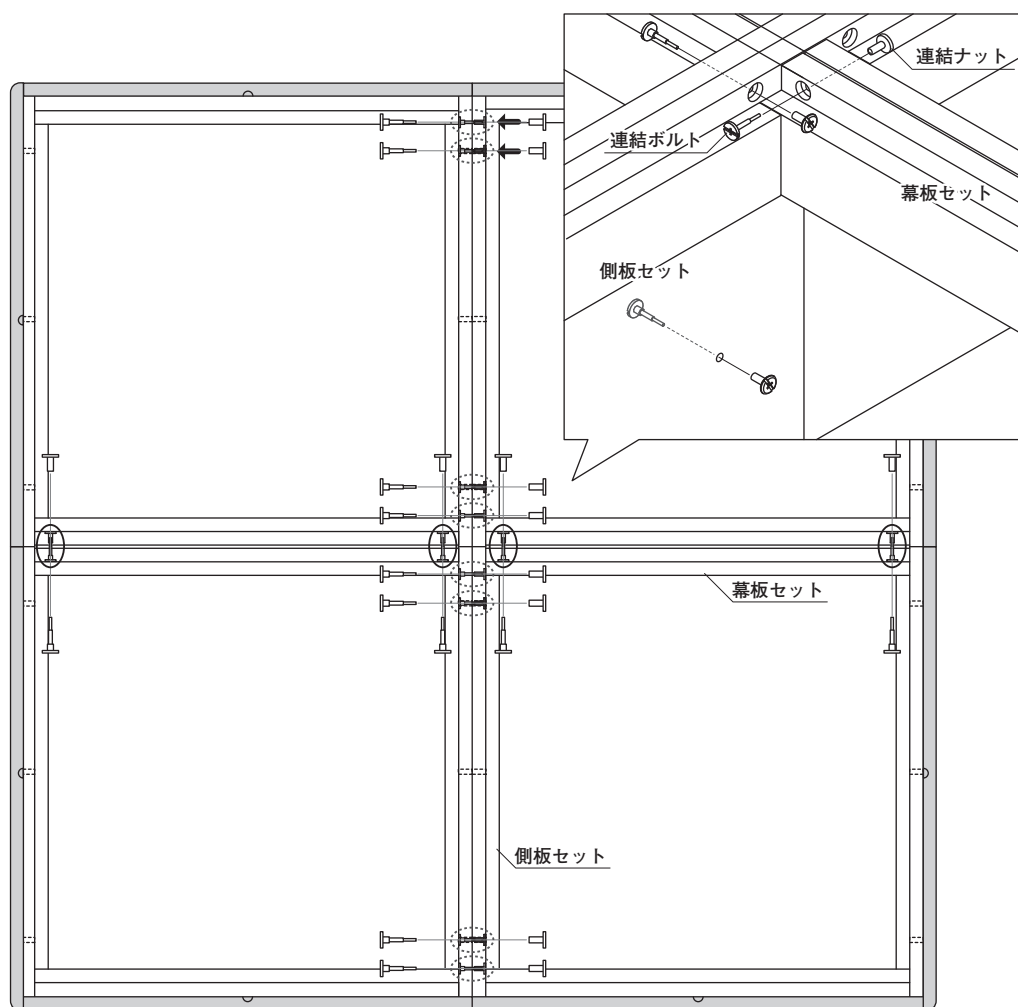
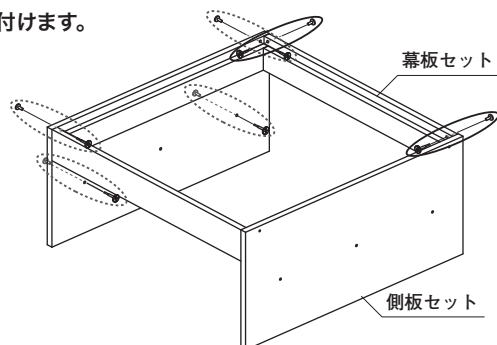
連結ボルト、連結ナットに対して電動ドライバーは絶対に使用しないでください。



#### 4 ボックスの連結

- ①ボックスを設置場所まで移動させ、連結したいボックス同士を並べます。
- ②幕板セットの連結穴(○)、側板セットの連結穴(⊙)へ連結ナット、連結ボルトをはめ、ドライバーで締めます。

一連結面に対し幕板セットに2カ所、側板セットに4カ所、連結金具を取り付けます。  
安全のため、必ず指定の連結穴をすべて固定してください。



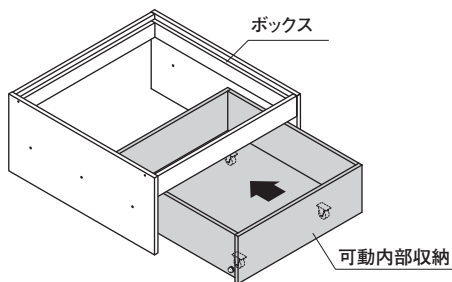
- ・ボックスを移動する際、床面にキズがつかないようにご注意ください。
- ・連結ボルト、連結ナットに対して電動ドライバーは絶対に使用しないでください。



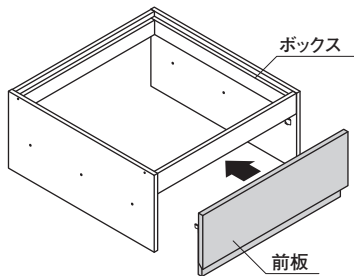
### 3. アイテムの設置、天板のはめ込み、薄畳・化粧天板の敷き詰め

#### 1 アイテムを設置

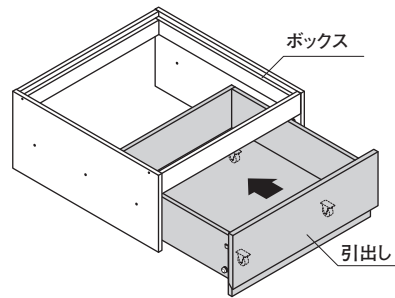
ボックス内部へ可動内部収納を挿入します。



ボックスへ前板を取り付けます。

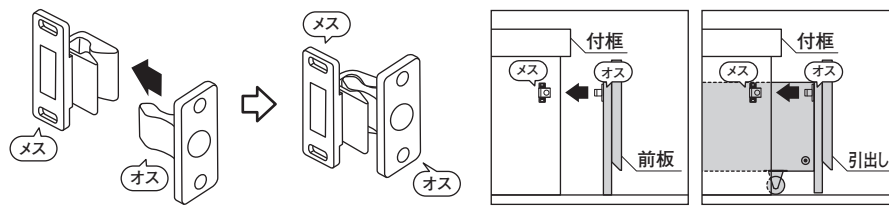


ボックスへ引出しを取り付けます。



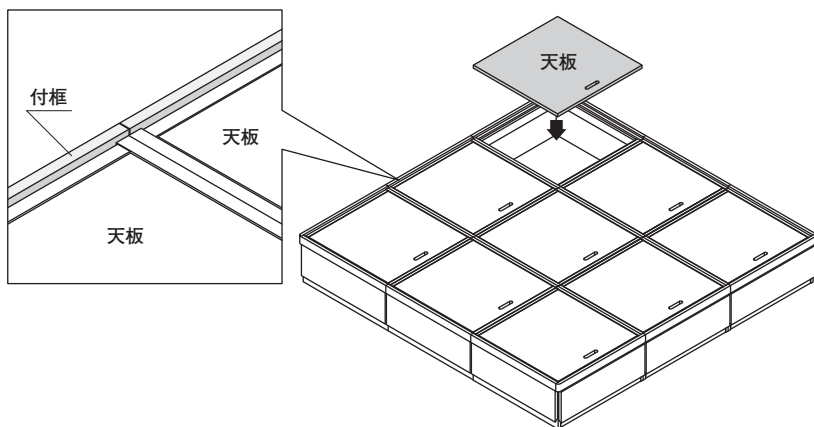
#### 前板・引出しの取り付け

ボックス側板セットのキャッチャー(メス)と前板・引出しのキャッチャー(オス)を合わせるようにして取り付けます。



#### 2 天板のはめ込み

ボックスの固定が完了後、天板をすべてはめ込み、きちんと閉まっていることを確認します。

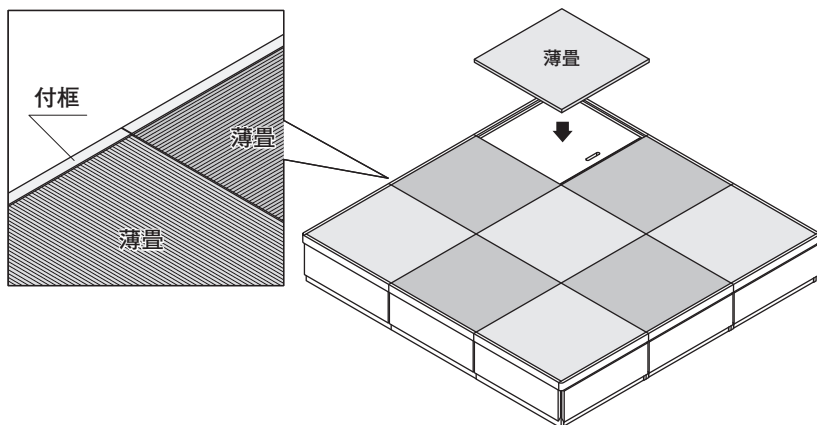


⚠ 手を挟まないようにご注意ください。

#### 3 畳・化粧天板の敷き詰め

ボックスの上に薄畳・い草畳もしくは化粧天板を敷きます。

※薄畳・い草畳の場合、畳の目を交互に敷くと美しく仕上がります。



## NANKAN 南海プライウッド株式会社

本社 〒760-0067 香川県高松市松福町1-15-10

北海道・東北営業グループ	TEL(087)825-3632	FAX(087)825-3695
関東甲信越営業グループ	TEL(087)806-3660	FAX(087)825-3645
首都圏営業グループ	TEL(087)825-3621	FAX(087)825-3645
中部営業グループ	TEL(087)825-3622	FAX(087)825-3646
近畿営業グループ	TEL(087)825-3623	FAX(087)825-3647
中四国営業グループ	TEL(087)825-3624	FAX(087)825-3648
九州営業グループ	TEL(087)825-3625	FAX(087)825-3649
新規需要開拓グループ	TEL(087)825-3631	FAX(087)825-3659
営業開発グループ	.....	.....
└ 特需営業チーム	TEL(087)825-3662	FAX(087)825-3669
└ 技術営業チーム	TEL(087)825-3651	FAX(087)806-3640

ホームページ <http://www.nankaiplywood.co.jp/>